

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-292676
(P2001-292676A)

(43)公開日 平成13年10月23日 (2001. 10. 23)

(51)Int.Cl.⁷
A 0 1 K 97/10

識別記号

F I
A 0 1 K 97/10

テーマコード*(参考)
Z 2 B 1 0 9

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願2000-112883(P2000-112883)

(22)出願日 平成12年4月14日(2000. 4. 14)

(71)出願人 391048603

サンワ株式会社

大阪府大阪市東成区玉津2丁目1番5号

(72)発明者 ▲たか▼木 保彦

大阪市東成区玉津二丁目一番五号 サンワ
株式会社内

(74)代理人 100074561

弁理士 柳野 隆生

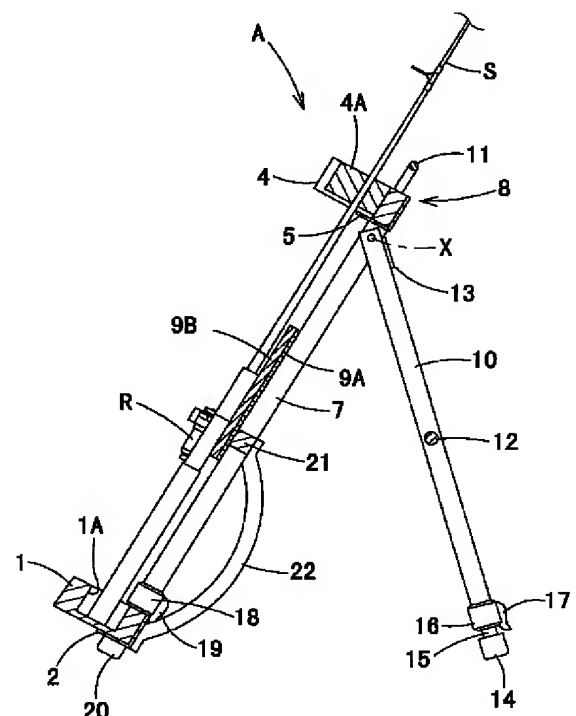
Fターム(参考) 2B109 CA12 CA22 CA27 CA31 CA45
CA53 CB01

(54)【発明の名称】 ルアー竿用スタンド

(57)【要約】

【課題】 ルアー竿を損傷させることがないとともに、釣り場移動を容易迅速に行えるルアー竿用スタンドを提供する点にある。

【解決手段】 竿尻を受ける竿受部1 Aを左右方向に複数備えた下側支持部材3と、竿Sの穂先側を挟持する挟持部4 Aの複数を前記複数の竿受部1 Aの上部それぞれに対応させた位置に形成した上側支持部材6と、これら下側支持部材3及び上側支持部材6の左右端部同士を上下方向でそれぞれ連結する左右一对の連結部材7、7とからなる竿支持本体8に、支持された竿SのリールRを接当支持する支持部材9及び該竿支持本体8の上部側の水平軸芯X周りで揺動自在に取り付けた脚部10、10を取り付けている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 竿尻を受ける竿受部を左右方向に複数備えた下側支持部材と、竿の穂先側を挟持する挟持部の複数を前記複数の竿受部の上部それぞれに対応させた位置に形成した上側支持部材と、これら下側支持部材及び上側支持部材の左右端部同士を上下方向でそれぞれ連結する左右一対の連結部材とからなる竿支持本体に、支持された竿のリールを接当支持する支持部材と該竿支持本体の上部側の水平軸芯周りで揺動自在に取り付けた脚部を取り付けてなるルアー竿用スタンド。

【請求項2】 前記上側支持部材が、前記複数の挟持部を備えた挟持部本体と、この挟持部本体を下方から支持し、かつ、前記連結部材の上端に固定されるL字形状の支持体とからなり、前記下側支持部材が、前記複数の竿受部を備えた竿受部本体と、この竿受部本体を下方から支持し、かつ、前記連結部材の下端に固定されるL字形状の支持体とからなる請求項1記載のルアー竿用スタンド。

【請求項3】 前記左右一対の連結部材を、前記下側支持部材の左右端部にそれぞれ固定された左右一対の固定側筒状体と、これら固定側筒状体にスライド自在に内嵌され、かつ、任意のスライド位置で固定可能に前記上側支持部材の左右端部にそれぞれ固定された可動側筒状体とから構成し、前記支持部材を前記竿支持本体に上下方向に移動自在で、かつ、任意の位置で固定可能に取り付けたことを特徴としてなる請求項1記載のルアー竿用スタンド。

【請求項4】 前記脚部を、前記竿支持本体内に格納可能な格納姿勢と該竿支持本体から離間した外部に揺動した使用姿勢とに姿勢変更自在に構成し、前記竿支持本体の下部と前記使用姿勢の脚部とを所定間隔で連結して固定するための連結具を備えさせてなる請求項1記載のルアー竿用スタンド。

【請求項5】 前記連結具をその連結距離を変更調節可能に構成してなる請求項4記載のルアー竿用スタンド。

【請求項6】 前記上側支持部材の上面に上方に突出する把手を取り付けてなる請求項1記載のルアー竿用スタンド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、特に湖や川等に生息するブラックバス等を釣るためのルアー釣りを行う場合に特に有効となるルアー竿用スタンドに関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、上記ルアー釣りを行う場合には、複数種類のルアー竿を持参し、いろんな釣り方を行うことによって、その日の釣果を上げることが行われている。そして、持参したルアー竿の中で使用していないルアー竿は地面に置いておき、必要に応じて使用するこ

とが多く、このように地面に置くと、ルアー竿の竿やリールの外面に傷を付けたり、誤って竿を踏んでしまい、破損させてしまう等のトラブルが発生することがあった。

【0003】又、釣り場を移動するには、複数のルアー竿を竿ケース等に一旦入れてから、移動しなければならないだけでなく、移動した後、再度竿ケースから複数のルアー竿を取り出さなければならない、非常に手間のかかる煩わしいものになっており、早期改善が要望されていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明が前述の状況に鑑み、解決しようとするところは、ルアー竿を損傷させることがないとともに、釣り場移動を容易迅速に行えるルアー竿用スタンドを提供する点にある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、前述の課題解決のために、竿尻を受ける竿受部を左右方向に複数備えた下側支持部材と、竿の穂先側を挟持する挟持部の複数を前記複数の竿受部の上部それぞれに対応させた位置に形成した上側支持部材と、これら下側支持部材及び上側支持部材の左右端部同士を上下方向でそれぞれ連結する左右一対の連結部材とからなる竿支持本体に、支持された竿のリールを接当支持する支持部材と該竿支持本体の上部側の水平軸芯周りで揺動自在に取り付けた脚部を取り付けて、ルアー竿用スタンドを構成した。従って、釣り場に到着すると、脚部を任意の角度に揺動させることにより竿支持本体を任意の角度の傾斜姿勢に保持させた後、使用していない複数の竿のそれぞれを竿受部と挟持部とに支持させることにより、複数の竿を立姿勢で固定保持することができる。そして、立姿勢で固定保持された複数の竿のうちの任意の竿を竿受部と挟持部から取り出して使用し、使用しなくなった竿をその竿受部と挟持部に支持させることを繰り返し行いながら釣りを行うことができる。又、釣り場を移動する場合には、竿が竿支持本体に立姿勢で固定保持されているから、竿支持本体を持ってそのままの状態に移動することができ、場所の移動後に直ちに釣りを行うことができる。しかも、上側支持部材、下側支持部材、左右一対の連結部材により外枠を構成する部材と、リール用支持部材及び脚部でルアー竿用スタンドを構成することによって、軽量化を図ることができ、持ち運びに有利になる。又、脚部が揺動式であるから、持ち運ぶ場合には、竿支持本体側に接近させることにより持ち運び中に脚部が他物に接当することを回避することができる。

【0006】前記上側支持部材が、前記複数の挟持部を備えた挟持部本体と、この挟持部本体を下方から支持し、かつ、前記連結部材の上端に固定されるL字形状の支持体とからなり、前記下側支持部材が、前記複数の竿受部を備えた竿受部本体と、この竿受部本体を下方から

10

20

30

40

50

支持し、かつ、前記連結部材の下端に固定されるL字形の支持体とからなっている。上側支持部材及び竿受部本体は、複数の竿を支持することができる程度の強度を有していればよいことから、挟持部本体と連結部材又は竿受部本体と連結部材とを軽量化を図ることができるL字形の支持体を介して連結するのである。

【0007】前記左右一对の連結部材を、前記下側支持部材の左右端部にそれぞれ固定された左右一对の固定側筒状体と、これら固定側筒状体にスライド自在に内嵌され、かつ、任意のスライド位置で固定可能に前記上側支持部材の左右端部にそれぞれ固定された可動側筒状体とから構成し、前記支持部材を前記竿支持本体に上下方向に移動自在で、かつ、任意の位置で固定可能に取り付けたことを特徴としている。竿の長さに合わせて連結部材の上下長さを変更することができ、長い竿をも安定よく立て掛けることができる。しかも、リールの位置が異なる場合でも支持部材を上下方向に移動させることによって、リールをできるだけ支持部材に受け止め支持させることが可能になる。尚、支持部材を、立て掛ける竿毎に変更できるように構成すれば、リールを確実に支持部材に受け止め支持させることができる。

【0008】前記脚部を、前記竿支持本体内に格納可能な格納姿勢と該竿支持本体から離間した外部に揺動した使用姿勢とに姿勢変更自在に構成し、前記竿支持本体の下部と前記使用姿勢の脚部とを所定間隔で連結して固定するための連結具を備えさせることによって、脚部を常に所定の使用姿勢にすることができ、竿支持本体を常に同一姿勢に維持させることができ、又、竿支持本体を持ち運ぶときには、脚部を格納姿勢に姿勢変更しておけば、竿支持本体から脚部が突出することがなくなるから、脚部が他物との接当により破損する等のトラブルがない。

【0009】前記連結具をその連結距離を変更調節可能に構成することによって、竿支持本体の傾斜角度を変更調節することができる。

【0010】前記上側支持部材の上面に上方に突出する把手を取り付けることによって、この把手を持って竿支持本体を容易に持ち運ぶことができる。

【0011】

【発明の実施の形態】図1～図5に、4本の竿S…を立て掛けた状態で保持することができるルアー竿用スタンドAを示している。このルアー竿用スタンドAは、竿尻を受けるための竿受部として、上面に円形の凹部1Aが左右方向に4個形成されたほぼ直方体形状の合成樹脂製の竿受部本体1とこの竿受部本体1がビス止めされるL字形のアルミニウム製の支持体2とからなる下側支持部材3と、竿の穂先側を挟持する挟持部4Aを備えた合成樹脂製の竿挟持部本体4と、この竿挟持部本体4がビス止めされるL字形のアルミニウム製の支持体5とからなる上側支持部材6と、これら下側支持部材3及び上

側支持部材6の左右端部同士を上下方向でそれぞれ連結する左右一对の断面形状角型の連結部材7、7からなる竿支持本体8と、前記支持された竿SのリールRを接当支持するために前記連結部材7、7のほぼ上下中央部に渡って取り付けられた支持部材9と、前記連結部材7、7の4つの側面のうちの互いに対面する内側面に水平軸芯X周りで揺動自在に枢支した断面形状角型の左右一对の脚部10、10とからなっている。図に示す11は、前記上側支持部材6の上面に取り付けた把手であり、この把手11を持ってルアー竿用スタンドを容易に持ち運ぶことができるようにしている。図では、4本の竿S…を立て掛けた状態で保持することができるものを示しているが、2本又は3本あるいは5本以上の竿S…を立て掛けた状態で保持するものであってもよい。又、前記2本の脚部10、10とすることで安定性を上げるようにしたが、1本にして実施することもできる。

【0012】前記支持部材9は、前記連結部材7、7間よりも長い横長状のアルミニウム製の板材9Aの表面にウレタン等のクッション材9Bが貼り付けられたものから構成することによって、竿SのリールRを弾性的に接当支持してリールRに傷が付くことがなく、しかも竿Sの竿尻と穂先とリールRの3箇所を竿Sを安定よく支持させることができるようにしている。前記支持部材9を上下方向での位置を変更調節することができるように設けて実施することによって、リールRの位置が異なってもリールRを確実に接当支持させることができる。前記支持部材9を左右方向で4つに分割し、それら4つの分割した支持部材それぞれを上下位置変更可能に構成すれば、リールRの位置が異なってもリールRをより確実に接当支持させることができる。前記クッション材9Bを設ける方が好ましいが、クッション材9Bを省略したものであってもよい。

【0013】前記脚部10、10は、前記連結部材7、7とほぼ同一の外径寸法に構成し、かつ、下端が連結部材7、7よりも上方に位置するように上下寸法を構成している。又、前記脚部10、10の上下中央部同士を断面形状円形の部材12により連結してあり、この部材12を持って2つの脚部10、10を竿支持本体8内に格納可能な格納姿勢（図1に2点鎖線で示す）と該竿支持本体8から離間した外部に揺動された使用姿勢（図1に実線で示す）とに姿勢変更することができるようにしている。

【0014】前記脚部10、10それぞれの後面上部に、前記連結部材7、7側に突出する板状のストッパー13が取り付けられており、前記格納姿勢に脚部10、10を姿勢変更したときに、ストッパー13、13の突出部の前面が連結部材7、7の後側面に接当することにより、格納姿勢側への脚部10、10の揺動を規制することができるようにしているが、ストッパー13、13を省略して実施してもよい。又、前記脚部10、10そ

れぞれの下部に該脚部10、10よりも大径な筒状部16を備えさせ、この筒状部16にゴム製のキャップ14が外嵌された接地部15を上下動(約30mmの範囲)自在に内嵌支持させるとともに、前記筒状部16に接地部15を任意の上下位置で固定するための固定解除自在な揺動式のロックレバー17を備えさせている。又、前記連結部材7、7それぞれの下部にも前記筒状部16と同一構成の筒状部18、18を備え、これら筒状部18、18に上下動(約30mmの範囲)自在に内嵌する部材(図示せず)を前記竿受部本体1の上面に突設するとともに、前記ロックレバー17と同一構成のロックレバー19を前記筒状部18、18にそれぞれ備えさせている。従って、例えば水平でない場所において左右の脚部10、10のうちのいずれか一方と左右の連結部材7、7のうちのいずれか一方の長さを約30mmの範囲で変更調節することによって、竿支持本体8を水平に維持させることができるようにしたり、長い竿を支持させる場合に脚部10、10及び連結部材7、7の全てを長くするように調節することができるようにしているが、図10及び図11に示すように水平調節のできないものでもよい。前記支持体2の下面に、ゴム製のキャップで覆われた接地部20、20を取り付けている。

【0015】前記挟持部4Aがポリウレタン等の発泡プラスチックでなり、竿Sの穂先側を差し込み可能な前後方向の切溝4a及びこの切溝4aの竿差し込み方向終端に竿Sを入り込み保持する空間部4bを形成したものでなり、切溝4aに沿って竿Sの穂先側を押し込んで空間部4bまで移動させるだけで、竿Sを保持することができるようにしている。そして、竿Sを取り外す場合には、竿Sを切溝4aに沿って前側に移動させることにより竿Sの保持を解除するのである。前記挟持部4Aの具体構成は、図に示されるものに限定されるものではない。

【0016】前記支持部材9の後面(背面)のほぼ中央部に脚部10、10同士間の長さよりも短い角型部材21を固定するとともに、この角型部材21の後面(背面)と支持体2の後面(背面)とに渡って後側に湾曲した形状の縦型のフレーム22が取り付けられており、この縦型のフレーム22を利用して、図6に示すように、ゴム製のボートBにルアー竿用スタンドAを取り付けることができるようにしている。つまり、図7にも示すように、前記フレーム22に形成の長孔22Aを貫通するボルト23の先端をボートBの先端に備えさせている取付部材24の螺子孔24Aに螺合させることによって、ルアー竿用スタンドAを固定することができる。

【0017】図6及び図7では、ゴム製のボートBにルアー竿用スタンドAを取り付ける場合を示したが、図8では、木製や合成樹脂製のボートBにルアー竿用スタンドAを取り付ける場合が示されている。つまり、ボートBの側壁に挟み込み可能なコの字状の取付部材25とこ

の取付部材25を挟み込み状態に固定するための螺子部材26とからなるアタッチメント27をボートBの側壁に挟み込み固定し、このアタッチメント27の取付部材25に形成の螺子孔25Aに前記フレーム22に形成の長孔22Aを貫通する前記ボルト23の先端を螺合させることによって、ルアー竿用スタンドAを固定することができる。前記フレーム22を省略したルアー竿用スタンドAであってもよい。

【0018】前記ルアー竿用スタンドAに、図9に示すように、大型船に固定するために先端にフック28を備えたゴム製又は樹脂製等からなるロープ29の4個(何個でもよい)を備えさせて実施してもよい。尚、図に示す30、30は、先端に面ファスナー31を備えた紐体であり、ルアー竿用スタンドAから竿Sが離脱することを回避するために竿Sの前側を覆うためのものである。

【0019】図10及び図11に、前記竿支持本体8の下部、つまり下側に位置する支持体2の後面と前記使用姿勢の脚部10とを所定間隔で連結して固定するための連結具32を備えさせることによって、脚部10を常に所定の使用姿勢にすることができ、竿支持本体8を常に同一姿勢に維持させることができるようにしてもよい。図10では、連結具32を、支持体2の後面及び脚部10の内側面に固定されたフック33、34と、これらフック33、34に係止可能なフック部35Aを両端に備える連結棒35とから構成している。この場合、連結棒35をフック33、34から取り外すことができる利点がある。図11では、連結具32を、図12にも示すように、連結部材7、7の下部に枢支連結されるパイプ36と、このパイプ36にスライド自在に内嵌される摺動部材37と、この摺動部材37をパイプ36の長手方向の任意の位置で固定する解除自在な蝶螺子38と、前記摺動部材37の下部と脚部10の下部とを枢支連結するためのパイプ39とから構成し、パイプ36に対する摺動部材37の位置を変更することによって、図11の実線と2点鎖線で示すように、連結部材7、7に対する脚部10、10の揺動位置を変更することができ、竿支持本体8の傾斜角度を変更調節することができるようにしている。図10及び図11に示す36Aは、前記パイプ36の後端に形成したフランジ部であり、摺動部材37の抜け止めを行うようにしている。尚、図10及び図11で説明しなかった他の構成は、連結部材7、7の下部及び脚部10、10の下部の構成が異なる以外、前述した構成と同一であるため、同一符号を付すとともに、説明を省略している。

【0020】前記ルアー竿用スタンドAを、図13に示すように構成してもよい。つまり、竿挟持部本体4の下面(底面)に3つの断面形状円形の脚部10…を角度変更可能に取り付け、3つの脚部10…のうちの特定の脚部10の上下方向ほぼ中央部に前記支持部材9を上下移動自在に取り付け、前記特定の脚部10の下端に内嵌し

10

20

30

40

50

た伸縮自在な可動脚40の上部に前記竿受部本体1を固定し、この竿受部本体1の左右両端下部に前記可動脚40とほぼ同一長さの脚体41、41を固定している。前記残りの脚部10、10の下端にも伸縮自在な可動脚40が内嵌してあり、高さ調節が行えるようにしている。前記脚部10の下端の筒状部41に、前記ロックレバー17が取り付けられており、このロックレバー17を揺動操作することにより、脚部10に対して可動脚40を固定及び固定解除することができるように構成している。図に示す22は、前記同様にボートB等に取り付けるためのフレームであり、又、42は、前記可動脚40及び脚体41、41の下端に嵌め込んだ合成樹脂又は合成ゴム等からなるキャップである。図13では、前記上下の支持体2、5及び連結部材7、7を省略することによる構成の簡素化を図ることができる利点がある。

【0021】図14に示すように、前記脚部10、10を格納姿勢で係止固定するための合成樹脂や合成ゴム等である平面視ほぼCの字状の左右一対の係止部材42、42であり、格納姿勢の脚部10、10が不測に揺動されることを阻止することができるようにしている。

【0022】

【発明の効果】請求項1によれば、使用していない複数の竿のそれぞれを竿受部と挟持部とに支持させることにより立て掛けた状態にすることにより、釣り竿の交換を容易迅速に行うことができながらも、従来のように地面に竿をおいて傷付けたり誤って踏んでしまっただけで破損するといったトラブルが無く、快適に釣りを行うことができる。しかも、複数の竿を立て掛けるに必要な強度を備えた必要最小限の部材、つまり上側支持部材、下側支持部材、左右一対の連結部材により外枠を構成する部材と、

リール用支持部材及び脚部でルアー竿用スタンドを構成することによって、軽量化を図ることができ、持ち運びに有利になり、場所移動を容易迅速に行うことができる。又、脚部が揺動式であるから、持ち運ぶ場合には、竿支持本体側に接近させることにより持ち運び中に脚部が他物に接当することを回避することができる利点もある。

【0023】請求項2によれば、上側支持部材及び竿受部本体は、複数の竿を支持することができる程度の強度を有していればよいことから、挟持部本体と連結部材又は竿受部本体と連結部材とを軽量化を図ることができるL字形の支持体を介して連結することによって、軽量化をより図ることができる。

【0024】請求項3によれば、竿の長さに合わせて連結部材の上下長さを変更することにより、長い竿をも安定よく立て掛けることができ、しかも、リールの位置が異なる場合でも支持部材を上下方向に移動させることによって、リールをできるだけ支持部材に受け止め支持させることが可能になり、どのような竿にも対応させることができるルアー竿用スタンドを提供することができ

る。尚、支持部材を、立て掛ける竿毎に変更できるように構成すれば、リールを確実に支持部材に受け止め支持させることができるのである。

【0025】請求項4によれば、脚部を、竿支持本体内に格納可能な格納姿勢と該竿支持本体から離間した外部に揺動された使用姿勢とに姿勢変更自在に構成し、前記竿支持本体の下部と前記使用姿勢の脚部とを所定間隔で連結して固定するための連結具を備えさせることによって、脚部を常に所定の使用姿勢にすることができ、竿支持本体を常に同一姿勢に維持させることができ、脚部が不測に揺動されてルアー竿用スタンドが倒れるようなことを確実に回避することができる。又、竿支持本体を持ち運ぶときには、脚部を格納姿勢に姿勢変更しておけば、竿支持本体から脚部が突出することがなくなるから、脚部が他物との接当により破損する等のトラブルがなく、長期間に渡って良好に使用することができる。

【0026】請求項5によれば、連結具をその連結距離を変更調節可能に構成することによって、竿支持本体の傾斜角度を変更調節することができ、例えば風の強い日等は傾斜角度を緩やかに（小さく）して、ルアー竿用スタンドが倒れることがないように安定姿勢にすることができ、又、傾斜角度をきつく（大きく）してルアー竿を取り易くする等、状況や使用面において有利になる。

【0027】請求項6によれば、前記上側支持部材の上面に上方に突出する把手を取り付けることによって、この把手を持って竿支持本体を容易に持ち運ぶことができ、取扱面において有利になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】ルアー竿用スタンドの縦断側面図

【図2】ルアー竿用スタンドを斜め下方から見た図

【図3】ルアー竿用スタンドを斜め上方から見た図

【図4】竿を取り付けたルアー竿用スタンドを斜め下方から見た図

【図5】竿を取り付けたルアー竿用スタンドの縦断側面図

【図6】ルアー竿用スタンドを取り付けたゴム製のボートの斜視図

【図7】ルアー竿用スタンドを取り付ける直前のゴム製のボートの斜視図

【図8】ルアー竿用スタンドを取り付ける直前のボートの斜視図

【図9】ロープ等を備えさせたルアー竿用スタンドを斜め下方から見た図

【図10】連結具を備えたルアー竿用スタンドの縦断側面図

【図11】別の連結具を備えたルアー竿用スタンドの縦断側面図

【図12】図11で示した連結具の具体構成を示す斜視図

【図13】別のルアー竿用スタンドを示す斜視図

【図14】脚部を格納姿勢で係止可能な構造を示す要部の後ろから見た斜視図

【符号の説明】

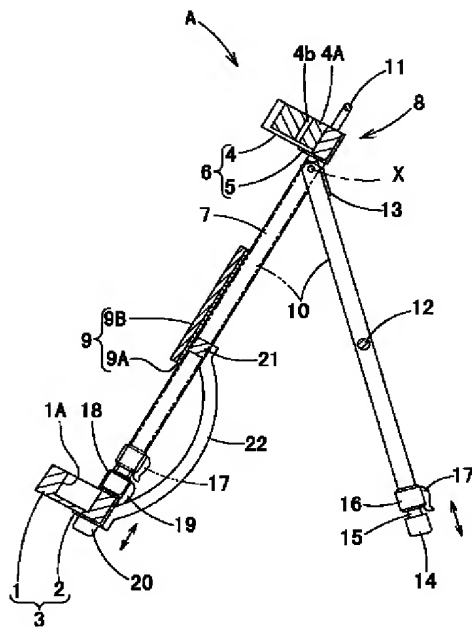
1 竿受部本体部)
2 支持体材
4 竿挟持部材
4a 切溝
5 支持体材
7 連結部材
9 支持部材
9B クッション材
11 把手
13 ストッパー
15 接地部
17 ロックレバー
19 ロックレバー

1A 凹部(竿受部)
3 下側支持部材
4A 挟持部
4b 空間部
6 上側支持部材
8 竿支持本体
9A 板材
10 脚部
12 部材
14 ギャップ
16 筒状部
18 筒状部
20 接地部

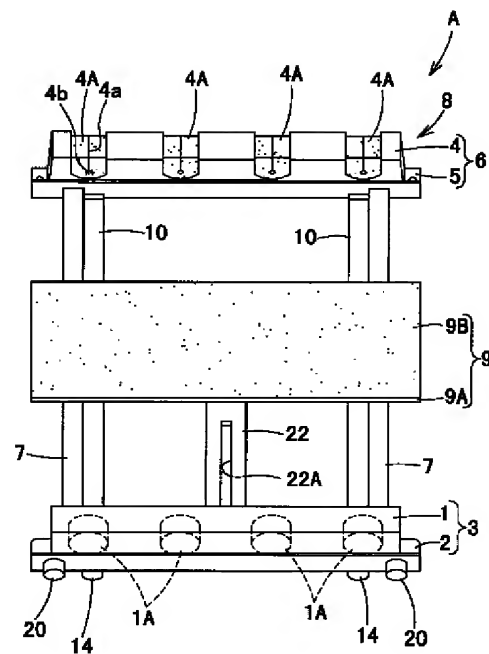
21 角型部材
22A 長孔
24 取付部材
25 取付部材
26 螺子部材
28 フック
30 紐体
32 連結具
35 連結棒
36 パイプ
37 摺動部材
39 パイプ
41 筒状部
43 係止部材
スタンド
B ボート
S 竿

22 フレーム
23 ボルト
24A 螺子孔
25A 螺子孔
27 アタッチメント
29 ロープ
31 面ファスナー
33,34 フック
35A フック部
36A フランジ部
38 蝶螺子
40 可動脚
42 ギャップ
A ルアー竿用
X 水平軸芯
R リール

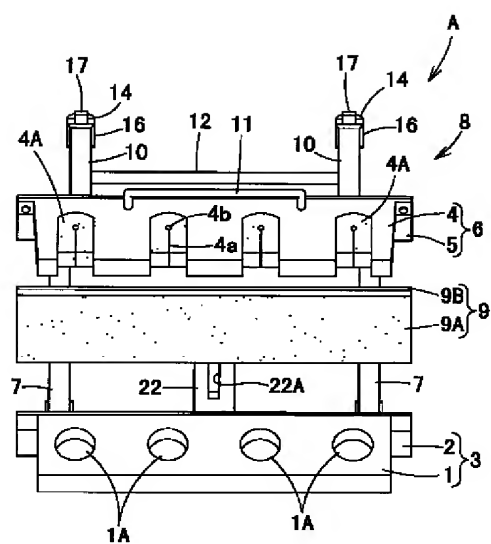
【図1】



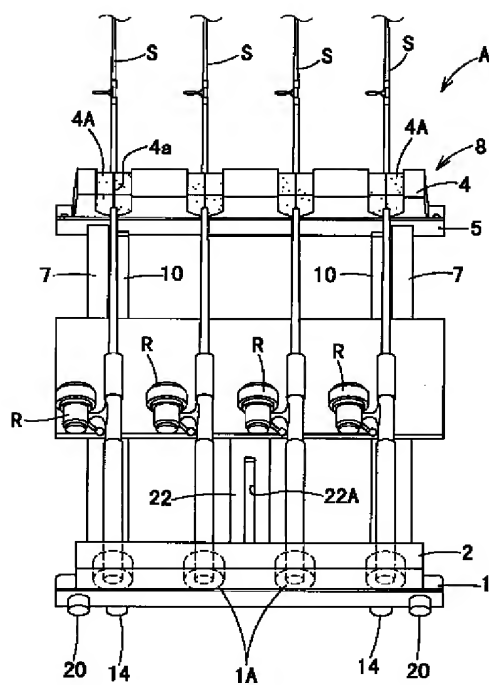
【図2】



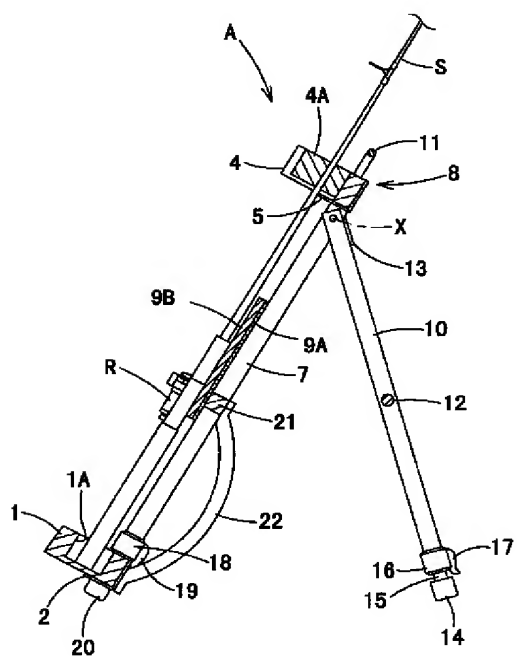
【例3】



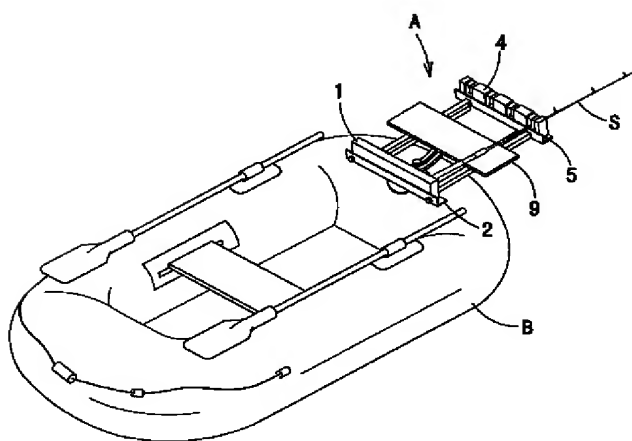
【図4】



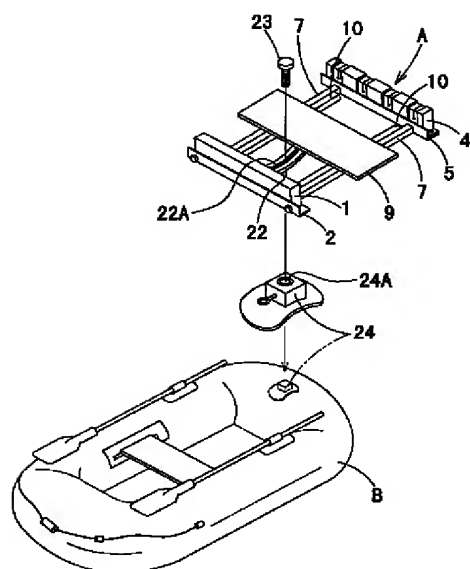
【图 5】



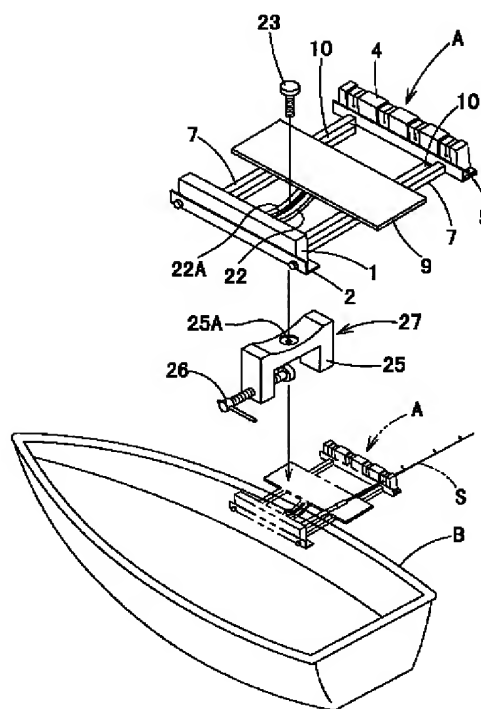
【图6】



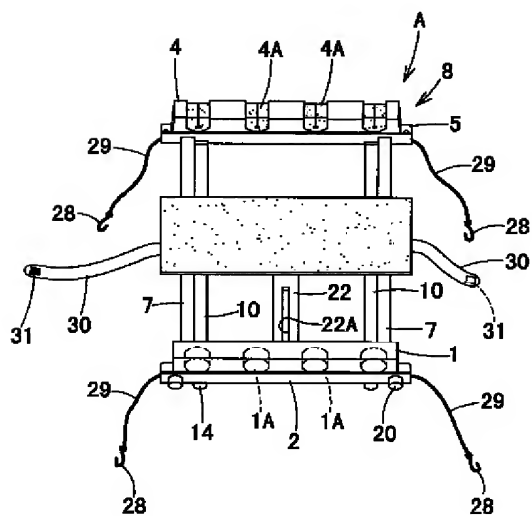
【図7】



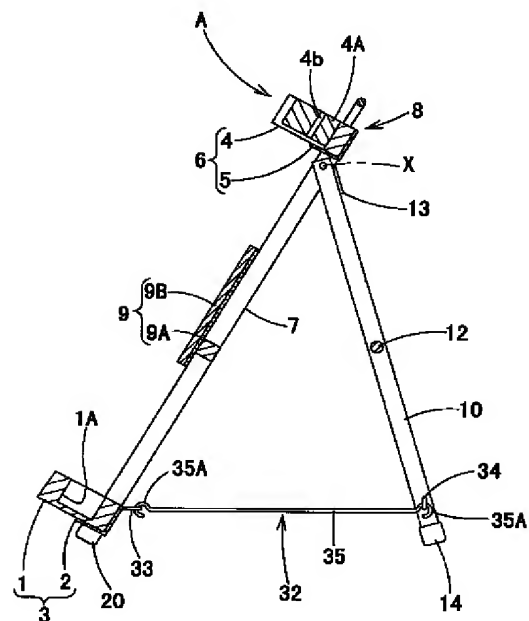
【図8】



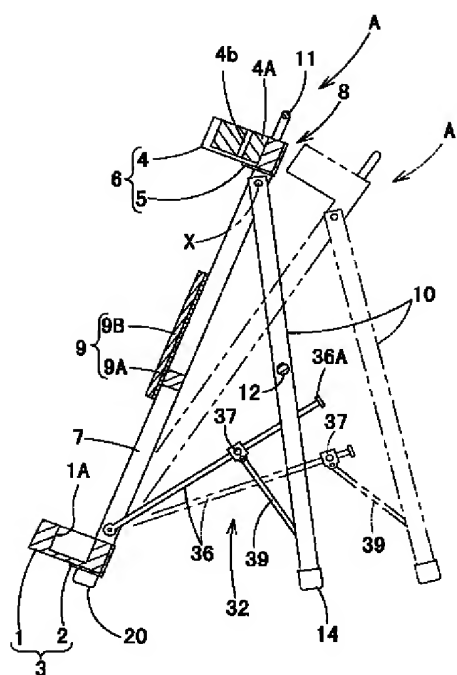
【図9】



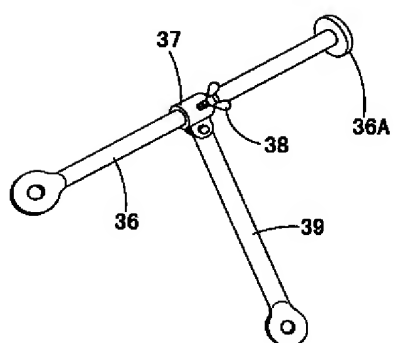
【図10】



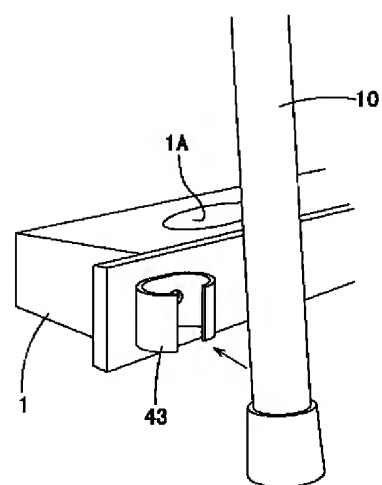
【図11】



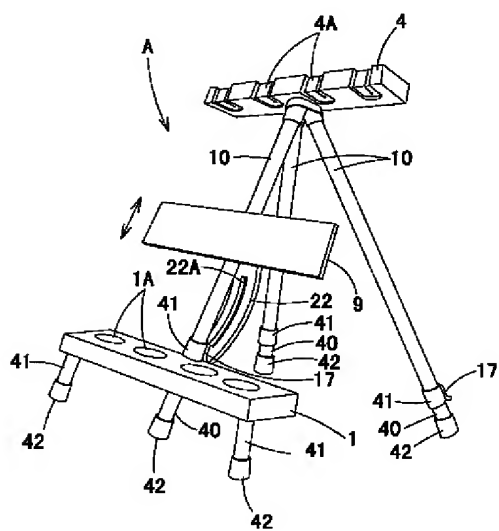
【図12】



【図14】



【図13】



PAT-NO: JP02001292676A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001292676 A
TITLE: STAND FOR LURE ROD
PUBN-DATE: October 23, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TAKAGI, YASUHIKO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SANWA KK	N/A

APPL-NO: JP2000112883
APPL-DATE: April 14, 2000

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a stand for a lure rod capable of readily and rapidly carrying out the transfer of a fishing place without damaging the lure rod.

SOLUTION: This stand for the lure rod is obtained by attaching a supporting member 9 for contacting and supporting a reel R of the supported rod S and leg parts 10 and 10 attached freely shakingly around a horizontal shaft center

X on the upper side of a rod support body 8 to the rod support body 8 comprising a lower supporting member 3 having plural rod receiving parts 1A for receiving the rod butt in the left and right directions, an upper supporting member 6 forming plural nipping parts 4A for nipping the tip side of the rod S at positions respectively corresponding to the upper parts of the plural rod receiving parts 1A and a pair of left and right connecting members 7 and 7 for respectively connecting mutual left and right ends of the lower supporting members 3 and the upper supporting members 6 in the vertical directions.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO